



きんひが通信

令和元年11月18日

<第30号>

校長 平塚智康

夢をもつこと ～PTA 教育講演会～

11月6日(水)、5限目に授業参観、6限目に教育講演会が行われました。ご来校下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

教育講演会では、佐竹美都子さん(アテネオリンピック・セーリング女子470級日本代表)から「夢をもつこと」という演題でご講演いただきました。3～6年生の児童が、真剣にお話に耳を傾けていました。



アテネ・オリンピックの時に着用していた、ジャパン(日本代表)のユニフォーム姿で講演してくださいました佐竹さん。このユニフォームを着て日本代表になり、オリンピックに出場するまでに、たくさんの努力を積み重ねてこられたことと思います。

そんな佐竹さんから、夢を持つことの大切さや夢をかなえるためのヒントになるお話をお聞きすることができました。

「夢は、かなうまであきらめなければ、いつかかなう。」

「好きなことを一生懸命することが大事だよ。」

「目の前のめんどくさいと思うことを、ひとつひとつクリアしていく・・・それが夢の実現につながっていきます。」

「自分をコントロールする力(セルフ・コントロール)を身につけてください。セルフ・コントロールはとっても大切です。」

「自分ががんばって努力できたとき、自分をいっぱいほめてあげてくださいね。」

「がんばっていれば、応援してくれる人が必ずいます。」

「応援してくれる人や支えてくれている人への感謝をわすれないで下さい。そうすれば、もっと応援の輪が広がっていきます。」・・・

心に残ることばがたくさんありました。佐竹さん、本当にありがとうございました。

児童の感想より

3年生

- 佐竹美都子さんの話を聞いて思ったことは、セーリングでアテネオリンピックに出て、ゆめをがんばってかなえた佐竹さんはすごいなと思いました。ぼくも、けんどうをがんばって、けいさつかんになるというゆめをかなえたいです。
- 私は、佐竹さんの話を聞いて、ヨットに乗るだけでもすごいのに、日本代表でオリンピックにまでいけるなんて、すごいと思いました。私は、話を聞いてる中で、一つずつ小さい目標を立てて、それをたっせいすることで、あきらめないでがんばることが、夢をかなえることにつながるという話が心に残りました。

4年生

- わたしは、そろばん、お茶、体そう教室をならっています。だけど、時々いやだなあ、やりたくないなあと思うことがあります。だけど、しけんに合格して、級を上げたいので、やめずに続けていけたらいいなあと思います。わたしは、つらいことがあっても、佐竹さんのように、あきらめずにさいごまでやりたいです。
- ぼくは、佐竹さんに言われたように、目の前のことを一つ一つクリアしていきたいと思いました。ぼくは、いつも宿題がいやだけど、やったら好きなことをやろうと思ってがんばります。これからめんどくさかったり、やりたくないことがあったら、がんばってやって、自分をほめながらがんばります。

5年生

- 11月6日に佐竹美都子さんの話を聞きました。佐竹さんは、小学校のころは剣道をしていて、中学校3年からセーリングをして、アテネオリンピックに行くなんてすごいと思いました。めんどくさいこと、つらいことを、とりあえずやっていると、とてもすごいことになると思いました。これからは、めんどくさいこと、つらいことも、一つずつしていくことをわすれずにあきらめなければ、夢はかなうことを意識して、続けていきたいです。
- ぼくは、昨日佐竹さんの「夢をもつこと」という話を聞いてわかったことは、あきらめずにがんばれば、夢はげんじつになるということです。ぼくも、あきらめずに物事にとりくみたいと思いました。

6年生

- ぼくは佐竹さんの話を聞いて、夢をもつことは大切だなと思いました。あきらめずに努力すれば、さいのうがない人も夢はかなえられるという話を聞いて、ぼくは勇気をもらいました。これから、ぼくもいろいろなことに挑戦していきたいです。
- 佐竹さんのお話で感じたことは、夢をもつことはすごく大切なことだということです。理由は、夢がないと、それに向かってがんばることもできないと思ったからです。あと、あきらめなければ、夢はかなうということも心に残りました。私も、夢をあきらめないようがんばりたいです。ありがとうございました。



「夢」は未来へ向かって進んでいくためのエネルギーです。
大きな夢でも、小さな夢でもかまいません。
夢を持って、夢に向かって、進んでいってくださいね。

